

# 鍋城通信

## 産業まつり 大盛り上がり！

1\_台風25号の影響で6日のみの開催でしたが、会場は多くの人で賑わいました 2\_木工体験ができるブース。工具の使い方を教わりながら本棚作りに挑戦 3\_特設ステージでは、市内の園児たちが元気よく踊りを披露 4\_友好都市のブース。産業まつりを通じて、両市の交流が図られました



### 遠

野市産業まつり(同実行委員会主催)は、10月6日に蔵の道ひろばを会場に開催されました。観光客や市民ら7,500人が来場。新鮮野菜の販売や餅振る舞い、市内の児童・生徒らによるステージ発表など多彩なイベントが行われました。会場では、市内外から44の

### 私たちが 取材・編集しました！



後列左から／白金大和(1年)、松田泰斗(2年)、川原隆一(2年)、菊池世名(2年) 前列左から／菊池かおり(2年)、佐々木なつみ(1年)、新田彩乃(1年)、阿部奈央(1年)、山崎ひなた(1年)、多田歩生(1年)

### インタビュー

### また来年も来たい！

産業まつりには遠野中学校の吹奏楽部の演奏を聞きに来ました。会場は、トルネードボテトなどの屋台が並んでいて見るだけでも楽しめるし、たくさんの人でぎわっていて活気がありました。毎年産業まつりに来ていますが、来年もまた家族で訪れたいです。



菊池さんご家族 早瀬町  
写真左から／菜緒さん、翔太くん、昭仁さん



↑お披露目されたスキップくん



高校生広報センター(通称:Kサポ)が校外に飛び出し、独自の目線で市内を紹介！遠野高校Kサポメンバーが、10月6日に開催された産業まつりを取材しました。

10月20日 全校表現活動「遠野の里の物語」

### 初の一般公演で満席の大盛況！

遠野物語を題材にした表現活動「遠野の里の物語」初の一般公演が、市民センター大ホールで行われました。遠野小児童らにより37年間受け継がれてきた同活動は、カッパや遠野三山、おしらさまなどの世界観を歌と踊りで表現した舞台。



高学年による「おしらさま」の表現

10月23日 上閉伊酒造株式会社が稻刈り体験を開催

### 植えた酒米、その手で収穫

青笹町の上閉伊酒造株式会社は、同社裏の田んぼで稻刈り体験を開催しました。同体験は、田植えから収穫を通して日本酒ができるまでの過程を学ぶもので、今年で5年目。青



夢中になって稲を刈り取る青小児童

笹小学校5年生17人が、5月に手植えしたひとめぼれを、鎌を使って収穫しました。12月には収穫を祝い、もちつきが行われる予定です。

9月29日 ぱすばる食育まつり

### 食べて学んで、健やかに育つ

ぱすばる食育まつりは市総合食育センターで開かれ、家族連れなど約400人が来場しました。会場では、青空クリッキングや学校給食試食会、遠野の人気の食べ物を決めるこ

ども模擬選挙などを実施。来場者は、多彩なイベントを通して食育への理解を深めました。

【こども模擬選挙結果】1位＝じんぎすかん

就学前の子どもたちは初めての給食にドキドキ

10月22日 一番搾りとれたてホップ生ビール初飲み会

### 発売15年目のお味はいかに？

同会はあえりあ遠野で開催され、市内ホップ農家やキリンビール関係者ら400人が参加しました。2018年産とれたてホップ生ビールは、ホップの獲れたてのみずみずしさと香りを味わえるのが特徴。発売15周年を迎え、ホップの香りがより引き立った「とれたてホップ生ビール」に

参加者は舌鼓を打ちました。

市内で生産された良質なホップの香りに心酔

### 伊香学のチャタヌーガNOW！Vol.7

米国チャタヌーガ市との交流を、派遣職員・伊香がお伝えします！

10月7日に、第19回カルチャーフェスティバル(チャタヌーガ州立コミュニティーカレッジ主催)が開催されました。同イベントは、各国の出身者たちが自国の文化を紹介するビッグイベント。今年は65カ国がブースを出展しました。

私もチャタヌーガ姉妹都市協会のブースで、遠野を紹介。同協会員で、これまで両市の交流をサポートしてくださっているルイ

ザ・メシッチさん、ラリー・メシッチさん、リンダ・アレンさんが応援に駆け付けてくれました！会場は、国際色あふれるダンスや歌、料理、パネル展示などが披露され、多くの来場客で賑わいました。

1\_法被を着て遠野のPRをするメシッチ夫妻 2\_イベントには浴衣で参加！リンダ・アレンさんと英語版ガイドブックで遠野をアピール 3・4\_多種多様な文化に触れることができ、刺激的なイベントでした

